

(別記4)

就農実習宿泊費支援事業

第1 事業の内容

本市が就農先として選ばれるきっかけとなるよう、市内の農地所有適格農業法人等で宿泊を伴う就農体験実習を行う際に必要となる宿泊費を支援する。

第2 用語の定義

別記4において、以下に掲げる用語の意義はそれぞれに定めるところによる。

- (1) 就農体験実習 補助事業者が、本市での新規就農を検討するにあたり、必要な実習を行うことをいう。
- (2) 農地所有適格法人等 農業生産を営む経営体をいう。

第3 補助対象事業

本市で新規就農（自営就農、雇用就農）を検討する者が受ける以下の就農体験実習を補助対象とする。

- (1) 市内の農地所有適格法人等で1回あたり5日以上就農体験実習を行う場合の宿泊費。
- (2) 補助額は上限5,500円／泊／人とし、年間1人当たり最大30泊分までとする。なお、実費が上限額を下回る場合は実費を交付することとする。
- (3) 宿泊先は旅館業法（昭和23年7月法律第138号）の適用を受けた施設とする。ただし、終日実習を行わない日の宿泊費は助成対象外とする。
- (4) 宿泊費に朝食代、夕食代が含まれている場合は、宿泊料からその額を減額する。ただし、金額が不明の場合は朝食分として800円を、夕食分として1,400円を減額する。

第4 補助事業者等

1 補助事業者は次の要件をすべて満たす者とする。

- (1) 新潟市外に住所を有すること。

- (2) 事業実施年度の4月1日時点で18歳以上62歳以下であること。
- (3) 実習先から給与等（宿泊費含む）の支払いを受けていないこと。
- (4) 実習受入者と農業体験実習実施に関する覚書（別添4-1）を交わしており、かつ補助金交付申請時に市長へ覚書を提出することに同意が得られていること。
- (5) 実習の日付、作業内容、作業場所、作業従事時間等を明確に記録した実習日誌（別添4-2）を作成しており、かつ実績報告時に市長へ実習日誌を提出することに同意が得られていること。
- (6) 就農状況等の調査に事業終了後も協力すること。

2 本事業の補助対象となる実習先は次の要件をすべて満たすこと。

- (1) 本市に事業所及び経営の拠点を有する農地所有適格法人等であること。
- (2) 農業法人の場合は構成員の、個人の場合は経営主の親族・姻族（3親等以内）でないこと。
- (3) 補助事業者に対し、1回あたり4泊5日以上の宿泊を伴う就農体験実習を行うこと。
- (4) 日程、実習内容が記載された実習計画（任意様式）を作成し、交付申請時に補助事業者が提出することに同意していること。

第5 補助金の交付申請等

- 1 補助事業者は、実習実施日の20日前までに新潟市ホームページのかんたん申込みより事前要望書を提出すること。
- 2 市長は前項に定める事前要望書を受理したときは、すみやかに申込者へ交付申請の可否を通知するものとする。
- 3 上記2の規定により補助金交付申請が可能とされた者は、要綱第4条の規定に従い補助金の交付申請を行うものとする。
- 4 補助事業者は、交付決定を受けた事業計画のうち、要綱第6条に掲げる重要な変更については同条の規定に従い補助金の変更交付申請を行うものとする。

第6 実績報告

補助事業者は、補助事業が完了したときは、要綱第7条の規定に従い実績報告を行うものとする。

別添 4-1

農業体験実習実施に関する覚書

農業体験実習の実施における下記事項について、実習受入者（甲）と農業体験実習受講者（乙）が合意したので、ここに覚書を交わす。

記

- 1 実習期間
令和 年 月 日から令和 年 月 日まで（ 日間）
- 2 農業体験実習及び休憩時間等
実習時間、休日及び休憩時間は甲の勤務体系に準じる他は、甲乙相互の協議により決定する。
- 3 農業体験実習の内容
実習の内容は、農業・農村に関する体験及び農業技術実習等とする。また、甲は乙が作成した実習日誌を市長へ提出することに同意するものとする。
- 4 農業体験実習実施中の事故への対応
実習実施中における実習受講者の事故（ケガや機械等の破損）については、実習受講者の責任において処理する。
- 5 労働の対価の支払い
実習受講者の労働に伴う対価は支払わない。
- 6 実習受入者は実習終了後においても、実習受講者の独立・就農促進等の支援に努めるものとする。

以上を甲と乙の間で合意した証しとして本書を2通作成し、甲乙それぞれ署名捺印のうえ各1通を保有する。

令和 年 月 日

甲（実習受入者）

住 所

氏 名（自署又は捺印）

（法人は法人名、代表者名の記入及び社印、代表者印を捺印する）

乙（実習受講者）

住 所

氏 名（自署又は捺印）

別添 4-2

実習日誌

提出日： 年 月 日

実習受入者名： _____

実習受講者名： _____

日付	実習作業内容・作業場所				実習時間	
月 日					時～ 時	計 時間
月 日					時～ 時	計 時間
月 日					時～ 時	計 時間
月 日					時～ 時	計 時間
月 日					時～ 時	計 時間
月 日					時～ 時	計 時間
月 日					時～ 時	計 時間
月 日					時～ 時	計 時間
月 日					時～ 時	計 時間
月 日					時～ 時	計 時間
実習期間	月 日～ 月 日	うち 休日	日	実習 時間	時間	

上記内容に相違ありません。

年 月 日 実習受入者名（自署又は捺印） _____

(任意様式)

実習時の宿泊費支援 実習計画

1 実習受入者名および所在地等

経営体名 代表者氏名			
住所	〒		
電話番号		Fax 番号	
E-mail			

2 実習受講者

氏名			
住所			
生年月日	年	月	日 (満 歳)

3 実習内容

作目 (いずれかに○)	水稻、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物、露地野菜、施設野菜、 露地果樹、施設果樹、露地花き・花木、施設花き・花木、乳用牛、肉用牛、 養豚、養鶏、その他 ()
品目	※水稻、トマト、ユリ切花 等具体的な品目を記入
実習期間	年 月 日 ~ 年 月 日
実習時間	午前 時 分 ~ 午後 時 分
実習除外日 (休日)	
実習日数	計 日 (泊 日)
宿泊費用 (いずれかに☑)	☐ 実習者本人負担 ☐ 実習先負担

※実習者本人の宿泊費用負担分に限り、支援対象とする。

別添 4-3

農業実習レポート

実習受講者 氏名

[illegible]

※実習内容、実習を通して学んだこと、今後の就農に関する展望などを記載してください。